THE WOMAN'S WEEKLY

毎週金曜日發行

第貳巻 第五號

（大正四年十一月四日第三種郵便物認可
大正五年一月二十八日発行）

婦人週報

主要目次

◎海外醜業婦取締られん……小橋三四子
□山脇房子論 □玩具の消毒……
◎母に缺けた此知識……大村幹
□火事場に飛込み □食料標準調……
◎家庭の野遊び……三名家
□胃病と流動物 □小兒の中耳炎……
◎亡き奥様の傳記出版……
□小さな汽關車 □マリヤテレサ
◎小說「何處へゆく」……松本雲舟

定価一部四銭五厘
郵送料五厘

婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院長診察月、水、木、金午前
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
麹町區三番町三十番地（市ケ見附内）
電、番六二一番

東洋内科醫院

院長 醫學士 **高田畊安**

電話ちがさき二番

南湖院

相州茅ケ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診察後應需

クリーニング

は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも殆んど**新調**同樣になります
和洋服**外套インバネス**東コート
ネル・セル・ショール半襟毛皮等のクリーニングと染色を**丁寧親切**迅速に致します
○局部シミヌキ
○御一報次第參上
各國大公使館
帝國ホテル御用
日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留場際 電話新橋三一〇八

◎産婦人科◎小兒科
宅診午前 往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 **女醫 吉岡彌生**
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院
電話番町三三五七

◉**呉服物なんでも**
△市内は御報せ次第持參
△地方は御年頃と品物とお知せ頂き御送附仕候
△問屋より直接故必廉價
△利益の半額は婦風會の會計へ寄附の御約束濟
東京市四谷區愛住町四九
齋藤ふく

あかくはれ、くづれていたむのがすぐなほる
しもやけの藥
陸軍常用
石樟膏
毎年の大好評故是非御試しあれ
藥價 金十錢 送料 金二錢
（三錢郵券四枚封入申込あれば直ちに發送）
小石川區高田老松町十七番地
製造發賣 **目白藥局**
振替東京三一六九二

古本**專門買入**
小石川區大塚
御報參堂 **山加書店**

産科、婦人科、小兒科
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
女醫 **井出茂代**
電話番町三六七七番

齒科
ドクトル **富田貞一**
電話浪花五四〇五
日本橋區高砂町六
（久松町停留場より西一丁）

眼科一般
診察時間毎日午前午後
入院設備アリ
吉野眼科院
小石川區高田豊川町
（女子大學校前）

◎**小兒科**
◎**内科**
小石川區高田老松町十二（細川侯邸前）
千葉醫學士 **清水榮**

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

目次

海外醜業婦取締られん……………小橋三四子
時事週評……………
一人一評——山脇房子……………
月瀬所見（四）……………村岡應東
家庭の野遊び……………ガントレット恒子
　コドモ會、佐藤任天
亡き奥樣の傳記出版——村井吉兵衛氏の美擧……
火事場に飛込んで——久留島夫人の働き……
母に缺けた此の知識……………大村幹
小兒の中耳炎……………綾子
玩具の消毒……………某夫人
食物の標準……………
胃病と流動物……………澤田斬霖
今週の惣菜……………櫻井ちか子
オハナシ　小さい汽關車……………あづま
子供の智慧……………
午前三時……………安中花子
マリヤテレサ……………
何處へゆく（四）……………松本雲舟
時事……女學校たより……個人消息……
編輯室より……………

海外醜業婦取締られん

小橋三四子

△二十七年間の熱誠

婦人矯風會が過る二十七年間、毎年議會に提出して、僅かに二三回受理されたのみであつた海外賣淫婦取締法案は、今月二十四日の分科會に滿場一致を以て通過したといふ事であります。機の熟した爲めか、我が國人の道德觀念の高まつた爲めか、ともかくも喜ばしい事で、これが本會議に附されて、速かに議決されんことを希ふ次第であります。

△海外に不名譽を曝く

所謂島原女とて、海外に醜業婦を出すので名高い九州地方に於て、或る出稼ぎした女が歸朝して、鄕里の小學校に鰐の皮を寄附したといふので、その小學校長はこの女を海外の成功者と稱し、兒童の前に立たせて、一場の講話をさせたといふことであります。海外から金さへ持ち歸れば、恰も富國の御奉公した如く考へて居る人々は、これ等の女が曝く不名譽の如何に莫大にして從つて、我が國威を傷ける事の夥しき、これより大なるはないといふ事に氣付かないのであります。

△哀れな商賣の代物

歐米各國が殖民地を開くに當つては、敎會とホームとを先づ其處に設くるに反して、我が日本の殖民地には先づ醜業婦が輸送さる丶ことは有名な事實であります。たゞに殖民地のみならず、人類の足跡の印する處、日本の醜業婦の渡つて居らぬ處はないと申します。これ等の女は只金が欲しい、立派な着物が着たい位の幼稚な欲に驅られて、無謀な營利者の口車に乘せられ、遠き海外に渡り人とも無き哀れな商賣の代物となるのであります。

△一を以て他を推さる

無智の女はわが何を爲して居るかに氣付かず、暗き罪惡の深みに沈淪して行くのであります。「彼れも人の子」と心ある人々が憐れまずには居られませんが、またその罪惡の及ぼす影響を思つて、誰か戰慄せずに居られませうか。海外の人にとつては、高きも低きも同じく日本人と見ゆるので、一を以て他を推されても餘儀ない事であります。私共にしても西洋人が隣りに住つて居るとすれば、これに尊敬を拂ひこそすれ、厭ひは致しませぬが、支那人、朝鮮人が相隣りして住ふ

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とすれば、多少無氣味にさへ思はるゝといふ事を見ても、私共がその個人を見る前に先づ國民全體を一つ品位に見たがるのは自然であります。我が國民の行く處として、排斥の聲の起らぬはなきも、故なしとせざる所であります。忠良なる日本國民が、在外賣淫婦の取締に非常に怠慢にして今日漸く注意を拂ふに至つたのは寧ろその遲きを恨まずに居られません

△源の廓清

更に海外賣淫婦の取締りを嚴重にするには、溯つてその源を清めなければなりませぬ。識者の間にすら、公娼を一種の必要な制度の如く稱へて、無節制なる男子を責むるに寛大であります。男子の卑しい欲望の牙にかゝらせん爲めに、檻に入れられた可憐の奴隸を、理性の發達した今日の男女が、平氣で見て、何の憤りの念をも起さぬ事は、不思議といふもをろかな次第であります。檻の打ち壞たれた曉、彼等の運命は依然として痛ましきものであるかも知れませんが、其處には次の瞬間からも廢めんと思へば廢められる自由を持つて居ります。この自由を與へぬ前に何の救濟法をも、社會改善策をも講じられぬ苦であります。この不合理に氣付いて、早くよりこれに就て運動せられたる矯風會の働らきを多とし、その婦人の手によつて此不面目の打ち破らるゝ事を此上なく嬉しき事に思はれます。

時事週評

▲政界の風雲　兵器賣却の形式に非法な所があつたとか申して、貴族院と政府とは意志の疎通を缺いて、これがために大隈内閣の死命を制せられるのではないかといふやうな觀測もされてゐます。兵器賣却は善いが、其の形式が惡いなどいふ事は、姑が嫁いじめに用ゆるやうな論法で、つまらぬ事を角立てたものです。私共は大隈内閣に味方する者でもありません。又世間は大隈内閣に余程飽いてゐるやうですから、内閣の交迭するとも人氣を一新する上にはよいかも知れませんが、苟くも一つの内閣を倒すには、もつと堂々たる理由であつてほしいと思ひます。くだらぬ形式論などで政府をいじめずとも、もつと政府の致命傷となることは探さすとも有るやうに思はれます。若し大隈内閣にさういふ形式論を捕へなければ、之を攻擊すべき隙間もないとしたらば、理想的の内閣と謳歌して差支へないでせう。兎に角政權の推移がもつと正々堂々たらんことを望んで止みません。

二

▲首相と爆彈　大隈首相は再び爆彈にあはれましたが、なんの怪我もなかつた事は幸ひです。犯人が捕まつて見ると、案外の感に打たれます。要するにくだらぬ事をしたものです。犯人の陰にどんな人達が潛んでゐるか知りませんが、卑怯な振舞と申すほかありますまい。

▲警視廳の拷問　鈴ヶ森砂風呂のお春殺し犯人として、三回公判を開かれた小守惣助は嫌疑が晴れて放免せられましたが警視廳で殘酷な拷問にあつたので、心身の苦しみにたへ切れずに覺へのないとを白狀させられたのであるといふ事が新聞を賑はすに至りました。拷問を行はねば犯人に白狀させる事が出來ぬとは昔の事でなく、現在の事實のやうに思はれるのは痛嘆の至りです。もつと文明的な白狀のさせ方がありさうなものです。さういふ方法に就て警視廳は學者の顧問を置く必要がありませう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一人一評

山脇房子

▲今でこそ山脇玄氏の名前が、婦人雜誌にぽつ／＼出るやうになつたが、數年前までは山脇氏が婦人の最も大なる同情者で、又婦人問題の研究者として造詣甚だ深きを知る者は至つて稀れであつた。山脇氏は早晩我邦には婦人參政權運動が起る、而して婦人に參政せしめるとは決して弊がないのみならず、國家のために甚だ有益な事であるといふやうな意見を持つてゐられる。永く行政裁判所の長官をつとめて、若し普通の人ならば、頑固な役人氣質の老朽者となり果つべき年頃になつてゐられる山脇氏に斯る新鋭な元氣と一歩進んだ意見があらうとは一寸驚かされる次第である。これは奥樣の房子さんが女學校の校長であつて、婦人教育家の花形である故に、御主人にまで其の感化を及ぼしたのであらうといへば言へないではない。けれども又他方から見れば、これほど進んだ考の御主人であればこそ、奥樣に一つの女學校を經營させて隱れた所から之を支持してゐられるのだとも言ふことが出來る。山脇房子さんが婦人教育家として今日の名を成したのは、寛厚の長者である山脇氏を主人に持たれたお蔭であるとも見られる。

▲物の解つた配偶者を得るほど人生にとりて幸福な事はない。夫は妻を理解し、妻は夫を理解する處に家庭の調和がされ兩者が社會的に腕を伸ばすことが出來るのである。妻が女學校でも起して見たいといふやうな考があつても、「何にお前などが」と頭から叱りつけてしまふ主人ならば、いかに敏腕な奥樣でも手も足も出ない次第である。妻をして名を成さしめてゐる人達を見るに、必ず其の蔭には能く其の妻の長所を理解して、能く之れを指導してゐられる主人が潛んでゐる。山脇氏夫妻も其の一つの例で、房子さんをして若し其の眞實を語らしめたならば、「皆夫の力です」と謙遜されるであらうと思ふ。斯る謙遜は房子さんの耻辱ではなく、大なる名譽である。又山脇氏に之れを聽いたなら、「皆妻の自由にまかせてゐるので」と言はれるであらう。これも亦眞實であらう。妻の自由にまかせることの出來ぬ夫は決して妻をして名を成さしめることは出來ない。

▲房子さんに接して第一に感ずるのは、儀禮に長じて居られる事である。向ひ合つて數時間居つても、決して其の動作に隙を見出すことが出來ない。現在の日本は儀禮がすたれた。動作に於ても心に於ても隙だらけの若い女が澤山に出來てゐる際に、一點の隙をも見出すことの出來ぬ山脇氏夫人に接してゐると、いかにも心持がよい。温容の裡に犯すべからざる態度を示される所、敬服の至りである。平素其の訓陶を受くる生徒が、先生の斯る長所を呑み込んで、其の風に化したならば、誘惑の手にさそはれるやうな事は餘程少なくなるであらうと思ふ。輕佻浮薄な女の態度は男の劣情を喜ばすといふことが眞であるならば、房子さんの如き犯し難き儀禮をもつと一般に普及したきものである。（くも）

三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

月瀬所見

村岡應東畫伯筆

家庭の野遊び

家族打連て野遊びの好季節は近づく

野遊の奬勵

ガンドレット恒子

恒子さんは山口高等學校教授の英人ガンドレット氏の奥様で、令弟に音樂家として名高いかの山田耕作氏です、四人のお子様に家庭で小學、中學の教育を授けられ本國に歸れば直ちに大學に入られる迄の準備をなして居られます。

△家庭を全く離れて

私共は休日には始終鎧カラの野遊びをする事にして居ります。家に居れば來客があつたり、家事の責任を考へたりして全く休養する事は出來難うございますが一旦外に出れば、大人も子供も自由になり、氣も心も輕ろらかに良い空氣の中で所謂浩然の氣を養ふ事が出來ます。行く先きは成る丈け人の居らぬ野か山で、大抵歩いて行きます。

四

△この日の旅裝

この日は破つても切つても差支へないやうな粗末な着物に、子供達は足袋に草鞋穿きか、車屋の穿く護謨裏付きの足袋を穿かせ、水筒をさげ、毛布を抱へ、辨當を携へて參ります。辨當にはサンドウヰッチは咽喉が渇いていけないといふのでお握りに梅干を入れ、茹で玉子位を持つて行きます。家族の外に書生さん二人位を連れて參りまして、いろ／＼お手傳ひをして貰ひます。

△目的地に着いて

目的地に着きますと、よい場所を陣取つて、辨當を開き、皆で樂しく食べ終ると、思ひ／＼の事に取りかゝります。面白い本などは一人が聲高に讀むのを、寢

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ころんで聞いたり、私は編物を持つて行つては、聞き乍ら手を動かして居ります。子供等は其處らに咲いて居る花を集め、昆虫を採つて、父から實物敎育を受けます。かうして終日送りますと、精神は非常に爽快になり、自然から受ける敎育も尠なからずあります。なほ歸宅後は賴つて行つた參謀本部の精密な地圖を擴げて歩いた處に朱線を引いて子供達に地理の觀念を與へます。子供達は朱線の殖えて行くのが樂しくて、成る丈け違つた道を、成る丈け遠く歩き度いとねだります。

コドモ會の遠足

四谷寺町に西念寺と云ふ寺があります。其處には十年前からコドモ會と云ふ樂しい會が毎月催され、春秋二期には會員打揃ふて郊外散歩を試みます。其の長い間の實驗から同會主任は次の如く語られました。

△浮間ケ原の櫻草

コドモ會では今から十年前赤羽の附近なる浮間ケ原の櫻草つみを催しました。最初は十四五人の小人數でしたから、赤毛布一枚持つてゆけば其他の準備は何も要りませんでしたが、今日では二百人位の大團體となりましたので、幹事だけでも二十名も要し、浮間ケ原には一軒の民家を借りて茶をわかしたり何かの用に使ひます。奇麗な野原で遊ぶので大した危險はありませんから絆創膏位を用意してゆけば醫者などはいりません。

△天氣と汽車の注意

郊外散策に最も注意しなくてはならぬのは天候です。コドモ會では氣象臺の岡田博士の令孃が會員なので、博士も毎回遠足に參加し、前日の夜遲く當日の天候を觀測して戴きますから大變都合が宜しいのです。朝、一滴でも雨が降るならば其日は中止いたします。會員には大きな赤い徽章をつけさせ、停車場に集合して幾つにも組を分けて各監督者をつけざん〴〵電車のくる毎に出發させます。

△會費は汽車賃だけ

會費は汽車賃丈しか取らず、辨當は各自好みのものを持參させます。菓子を澤山持參した事もありましたが、子供達は遊ぶ事に熱中して餘り食べませんから、其必要はないと思ひます。彼の浮間ケ原と云ふ所は、赤羽驛から五六丁の處にあり、一面の芝地で寢ころんでも衣類をよごす樣な事はなく、此の原獨特の櫻草が誠に奇麗で可愛らしく、子供達の心を樂しませます。白すみれも澤山あります。女の子は一生懸命で櫻草や菫つみに、男の子は草つみに飽きると赤蛙取りに時の過つも知らないで遊びます。此頃は浮間ケ原も、餘りに多くの人が行くので俗になりましたから、も少し奧の方へ入つた處によい場所を見出したいと思つて居ります。

△少年少女の趣向

子供を連れてゆくならば、是非とも朝早く行つて夕方は早く切上げて歸る樣にしなければならぬと思ひます。朝は少々寒くとも遊びに行くと云ふ元氣で、子供の身體にも影響せぬ樣ですが、夕方の寒さは直ぐ受け入れられ易いからと、電車汽車の混雜しない時に往復出來る便利が

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あるからです。かうして行つて來た經驗に依ると、子供の心身上甚だよい結果を來したと思ひます。都會に住んでゐると、廣々とした處を見る事が出來ないから、時に端まで見通せる野原に遊ぶと、のんびりした氣分になつて、得る所は決して少なくありません。未だお伽噺を喜んでゐる尋常三年位までの少年少女は、景色や花を見て樂しむと云ふまでにはゆかず、何んでも自分の手に掴んで見なければ面白くないと云ふ處がありますから若し梅だの桃だのを見物する時、かゝる小さい子供を連れてゆくならば、其一枝を持たせる位にせぬと滿足しないでせう。此意味で櫻草や菫草つみは最も小さい子供に適した遊びであるのです。

半日の行樂

佐藤任天

△場所はえらばず

家族的の半日行樂は大抵年に一二回催ほしてゐます。春秋とは申すもの丶春の方がよいやうです、それも櫻の盛り荒川堤や飛鳥山などいふ雜閙の地と時とを可成避けて四月の末から五月にかけての頃が一番よいやうです。場所は多摩川の双子の渡し附近、國府臺、津田沼附近、花後の荒川堤などへよく出掛けます。又淀橋から上水の水脈に添ふてぶらり／＼散策するのも甚だよいのです。少し遠くなりますが片瀬鵠沼あたりで小松原の中に寢ころんで雲雀の聲をきいたこともあります。要するに郊外都塵稍遠く眼界の廣い所なら、何處でもよろしい、只日暖かに風靜かなのが何よりの條件、それと今一つ大切な事は家族中一人でも差支なく出られる日を擇びます。此日には家を全く／＼切つて行くのですから細君の方では少々臆劫のやうですが母アさんの出ると出ないのとで小供達の人氣に關すること至大ですから、日取の撰擇等は全く之れ一任する事にしてゐます。

△何事も忘れて

家庭行樂と申しても私の家では小供の五人、陽氣な女中、それに女學生の五六人が加はらぬことはありませんから勿々賑かなのです。お辨當の坊主持、田の畦を歩み乍らのお唱歌、廣場では丸髷とお髷と友禪模樣とが輪になつて「開イらいた開イらいた」だの「猫と鼠」などをしたり、疲れては青草の上に寢ころんで雲雀の歌に耳をかたむける。「澄ちやん蒲公英は何科植物ですか」とか「お覽なさいワン／＼が兄弟仲よく遊んでゐます、少しも喧嘩なんかしませんね」などゝいふやうなお説教は全部廢止、老いたるは老いたるを忘れ、子供は心身全部を忘れ、女中は翌日のお献立を忘れ學生は試驗を忘れ一切の世界を忘れ盡して只一樣に自然の嬰兒となり了り同じ天日の慈光の下に沒頭沒入してしまうのです。見よ紫雲華と蒲公英と一切の無名草と我等との間に何の隔りがあるか、雲雀と雀と我等との間に何の疑があるか、野は直ちに母の懷、天日は直ちに我等の父、其の大父天母をすら殆んど念頭に浮べないで身も心も天地自然と融合する、風寒きに目醒め日傾けるに驚いて歸路に就く時、各人の頭に先づ起るものは何であらう乎、たゞ感謝たゞ祝福。

六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

奥様の傳記出版

村井吉兵衛氏の美擧

△夫人の傳記編纂

村井吉兵衛氏は此の元日の朝、長逝されました夫人宇野子の君(四七)の靈を慰めんとて、諸所の慈善事業へ寄附をなさいましたが、尚ほ亡き妻の此世にありし間の事共を錄して、之を其墓前に捧げ、又生前親交ありし人々に贈らん事を思ひ立たれ、其執筆者の推薦を日本女子大學校に依頼されました。同校では元讀賣新聞婦人附錄の記者であつた校友柳八重子君を適任者として推薦されましたので、柳女史は、目下材料の蒐集に努めて居られます。良人の手によりて其妻の傳記が出版されると云ふ事は誠に珍らしい事でまた婦人の筆で其の傳記が書かれると云ふ事も稀れに見る事でありませう。

△美しい献身的精神

故宇野子夫人は、京都五條橋のほとりに生れ、三才の時、當時九才であつた本家の吉兵衛氏と許嫁となりました。吉兵衛氏は宇野子君と兄妹の如く育てられて居りました。而して十六才の時吉兵衛氏(當時二十二才)と結婚され、世人の知る如く幾多の艱苦を積まれて、夫君を助け、遂に今日の富と一家の繁榮とを得るに至られました。夫人は最も献身的精神に富んでゐられました。生前一家一門の衆望を一身にあつめて居られたのも、他人の爲めに骨身を惜しまなかつた其美しい心からであります。又忙しい中を讀書や詠草に用ゐられ、近親の人々にも常に向上修養の道を教へられました。

△隠れたる慈善家

夫人は至つて旅行好きでした。日露戰爭後、良人に從つて滿韓を巡り、明治四十三年には歐米二十二ヶ國を訪れたなど其中特筆さるべきものでした。旅行先からは常に知友に宛て丶土地の繪ハガキに頼りを書き送られましたが、其の文言にも夫人の物優しい心を窺ふ事が出來るのでした。夫人は公けには社界事業に携はられた事はありませんでしたが隠れたる慈善は常に勉めて居られました。青年會のミス、ウエストが去年の暮、會の財政上の事から夫人に寄附金を頼みに行かれました時、夫人は自分の居間から百圓のお金を出して來て「之は甚だ少々ですが色々相談などして居りますと暇がかゝりますから、私の考へ丈で御用立いたします。之位の事ならば私の心だけで何時でも何うにか出來ますから、何卒御遠慮なく……」とて「長い間日本の爲めに私達のしなければならない事をして戴いて何とも御禮の申し樣がありません」と附加へられたと云ふ事です。其他鮫ヶ橋の貧民に餅を送る事を年末の行事として居られました。而も之等のお金は皆御自身の身まはりを節して生み出されたものであつたと云ふ事です。夫人は近頃漸く家庭の仕事をはなれて、之から世の爲め人の爲めに働かれると云ふ時、俄かに世を逝られましたのは、誠に惜みても餘りある事でございます。

七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

火事場に飛込んで働ける久留島夫人

△義侠的な夫人

去る十九日午後三時五十分から同五時四十分に渡る青山南町六丁目の大火を背景として、一夫人の目醒しい働が演ぜられた。

此日青山穏田四番地なる早蕨幼稚園の久留島武彦氏夫人みね子さんは病める園兒の宅を見舞つて居ると折柄「火事だッ」と云ふ騒ぎに早速其家を飛び出し、六丁目の火元に近い勝山と云ふ園兒の家の表から「坊ちやんを預りませうか」と聲をかけた。内からは「有難う、もう預けましたから」と云ふ聲。それではと火元から一丁も離れてゐぬ天野雄彦氏と云ふ友人の家へ走つた。

△留守中に燒けた家

天野家では主人は地方出張中、妻女と母堂と二人の子供とは其日の晝頃から、下町の方へ用達に出掛けて、犬一疋留守居して居なかつた。——久留島夫人は、堅く閉された門を叩いて、困つて居る所へ、豆腐屋の若衆が來た。之れ幸ひと其男に頼んで、門を壊し、塀を破り、更に雨戸をはずして、家屋内に入つた。處へまた出入の牛肉屋の若衆が來た。夫人は咄嗟の思ひつきで、簞笥の中から單衣物を引出して之を風呂敷代りに敷いて、あとは何んでもかまはず引出して之に包み用簞笥の中の貴重なものは、風呂敷に包んで、自分の腰に卷きつけなどして、二人の男と共に其品物を家の前の廣場へ運んだが、危險になつて來たので、更に離れた原へ運んだ。

△一人の紳士に依頼

夫人は、火事見物の人々の中に一人の紳士を見出して「あなたを紳士とお見受けしてお頼みいたしますが、私は久留島武彦の妻で、今知合の家の留守宅の荷物を運んで來たのですが、暫時此荷の見張りをして頂きたい」と頼むと、紳士は「承知しました」と一葉の名刺を出して夫人に渡し、品物を盜まれぬ樣、よく監視してゐた。其名刺には下澁谷八八〇武間某と記してあつた。

△一同蘇生の思ひ

けれども火は益々烈しく家は正に火の渦に卷込まれ、又出した品物の危險が近づいて來た。久留島夫人はミユーゼショールを水に濡して束髪の頭を包み、雨の如うに落ちる火の子の中をあちこちと走り廻つた。そして再び荷を、より遠き場所に移したが、まだ危險であつたから、疊をビショ濡れにして荷物の三方を圍み之以上は天運にまかせんと、猛け狂ふ火を眺めつゝ、荷の監視をしてゐた。

火事が鎭つた頃、天野家の人々は走せ歸つて來た。妻女も母堂も子供達も、燒けた家を見て呆然と氣を失ふばかりであつた。けれども、總ての家具家財は、久留島氏の邸内に運ばれてあると聞いて一同は蘇生した思ひ、而し初めは信ずる事さへ出來なかつた。

一度も火事に遇つた經驗のない久留島夫人が、咄嗟の間に此れ丈の働をされた事は、誠に歎賞に價する事である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

母に缺けた此知識

―我國飛行界の現狀―

讀賣新聞記者　大村幹

此頃の子供達は飛行機や飛行船などについて、驚くべき知識を持つてゐますが、却つて母たり姉たる婦人に殆んど其知識が缺けてゐるのは遺憾な事です。そこで此頃の航空界の事を少しく申上げる事にいたしました。

△雄飛號は玩具の如し

此間大阪まで飛びは飛んたが、歸るに際し解體して汽車で運ばれたと云ふ憐れな樣となつた我國唯一の陸軍航空船「雄飛號」などは歐洲の空界に覇を爲してゐるツエツペリン飛行船などに比べたら殆んど玩具みたいなもので、我國に於てももつと完全な飛行船が出來る事は誰しも望んでゐる處であります。けれども此一事を以て日本の航空界の現在及將來を悲觀するのは大早計です。我國には飛行機の機體や發動機の優秀なものは少ないが其操縱術に於ては決して歐米諸國の飛行家に比し遜色ありとは思へぬし、今や機體や發動機の如きも七十馬力程度のものは内地で原料も得られ製作も出來ると云ふ狀態にあるのだから、寧ろ其將來は大いに望みを囑してよいのです。殊に日本人の大膽で機敏な性質が飛行機などに乘るには最も適當してゐると一般に云はれて居ります。

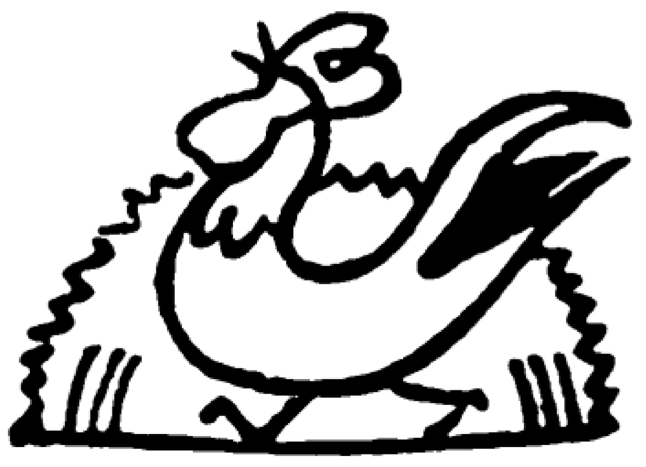
△現在の我空界の威力

陸軍には普通モ式と呼ばれてゐるモリス、ハアルマンとアンリー、ハアルマン(改造モ式)との二種類の復葉飛行機と、ルンプラー、ブレリオなどの單葉飛行機があるが、今ではモ式を專ら使用してゐます。海軍にもモリスハアルマン、ジユベルジユツサン等の機があるから陸海軍合せて飛行機百臺足らず、飛行將校百人足らずが、現在の我空界の威力であるのです。之を數の上から獨佛英露等に比べたら甚だ貧弱なものですが、さう悲觀すべき程でもないのです。先頃米國のナイルスと云ふ宙返り飛行家が來て大分騷がれたがあの飛行機は宙返り專門に出來てゐて、卅分以上飛行は出來ず、實用としての價値は殆んど無い位なものです。

△子供が間違ひ易い事

我國では一時民間飛行家と云ふものが實質以上に持囃された事があつた爲め、素養のない驅出者が多數輩出して今では其信用が甚だ薄くなり、例外は別として總じて眞面目な研究家がなくなつたのは困つた事です。皆樣はよく子供達が爆彈投下と云ふのをお聞きでせうが、近來ではあの爆彈投下は餘り功がないと云ふので爆彈の代りに釘を澤山投下する方法が歐洲の戰地で行はれてゐるさうです。また子供達は回轉機が、飛行機の前に付いてゐても後ろについてゐても推進機と申しますが、後方に付いてゐる時推進機と云ひ、前方にある時は牽引機と云はねばなりません。即ち推すのと引くのと其作用が全く異ふからであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



小兒の中耳炎

綾　子

△風の吹く日の外出

今から丁度一ヶ月ばかり前の或る風の吹く日私は子供をつれて外出しました。歸り路に子供は耳をおさへて痛い痛いと申しました。私は兼ねて中耳炎のおそるべき事を聞いて居りましたので家に歸つたら直ぐ醫者をよんで見てもらはうと思ひながら家に歸りました。家に歸つてから痛いかと聞きますと、もう痛くないと申しました。その晩も子供は耳が痛いといひましたが、その翌朝何ともないと申すので、私は餘り氣にかけないで、そのまゝ醫者にも見せずに居りました。

△廿日後の發病

それから丁度廿日ばかり經つて旅行先で元氣よく遊んで居た子供は急に外からかへつてきて頭が痛いと申しました。手を握つて見ると脈も多く、熱もありました。すぐとふせられて、又いつもの通り腸が惡くなつたのだらうと思つてその手當をして醫者にも診察して貰ひました。醫者も腸が少し惡るいといふ診斷でその方の手當をしましたが、少しも熱はひきません。

△ろの容態

熱は不思議な樣にふけさめがはげしくつて卅九度に上るかと思へば卅七度五分位に下ります。或時は撿溫器の見間違ひかと思ふほど、上つたり下つたりしました熱がさめて居る時でも顏の色は赤うございました。殊に一方の頰は一方の頰よりも一層赤うございました。そして頭が痛いと云ひました。そんな事が丁度四日程つゞきました夜の二時頃急に片々の頰の殊に赤い方の耳が痛いといつて泣き出しました。尤もそれ前も頭が痛いといふので頭を冷やしては居ましたが、耳が痛いと云ひ出したので、すぐ氷で頭から耳の周圍を冷やしました。翌朝醫者が油藥を耳にさしましたが、其の日のお晝頃まで泣いて耳を痛がつて居ましたが、午後の二時頃耳から水の樣な膿が出ましたので、初めて中耳炎といふ事が此の時知れました。

△旅中に起つた出來事

旅行中に起つた出來事なので、醫者はかゝりつけの醫者でありませんでした。その醫者が子供の顏色を見て平常のお顏色はこんなですかときゝましたが、私はふだんいゝ顏色をして居ますと答へました。醫者は子供の頰の色が、病中で、殊に腸をなほすために絶食をさせてあるにしては余りに顏色が赤いと思つて私に聞いたのでせうが、私はそこに氣がつきませんでした。それが爲に病源をはやく知る事が出來なかつたのを殘念に思ひます。併し膿が出はじめてから丁度二週間計りで全く膿はとまつてしまひました。

○洋服の手入れ　婦人方が和服に就ては汚れや褪色を氣になさいますが、洋服はいくら汚れて居ても、手入れを爲さらうとしないので、二十年持つものが、三四年で惡くなります。クリニングで時々汚れを取り、色上げをしますと、始終新らしくなる計りでなく、經濟にもなります。和服もクリーニングによれば、仕立たまゝで奇麗になります。（日比谷クリーニング店主河村陸郎氏談）

○櫻布　今度本郷湯島切通坂町ニホン商會にて賣り出したる櫻布は水分を充分吸收し、水搾りも容易の上に、代價も極めて低廉で、拭布や雜布に至極適當のものです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

玩具の消毒

子供に與へる前忘れてならぬ事

嘗て貧民窟を巡つて見ました節、子供の持つ小弓や、旗や、其他安い玩具類が薄暗い此の裏長屋で澤山に作られて居りました。その拵らへる人を見ると、眼のたゞれて居る人や、手に腫物の出來て居る人等も尠くございませんので、その作られた玩具を町に運んで、玩具屋の店から、柔かい子供の手に持たれるのかと思ふと、戰慄せずには居られませんでした。

私は子供等には先づ玩具を消毒して與へることを怠りません。口に入れるやうな種類のものは、熱湯を注ぎ、よく拭いて太陽に乾かし、湯を注いで壞れさうなものは日光に充分晒らすか、または石炭酸のやうな消毒液で拭いて渡します。それ迄にしては却つて子供を神經質にする恐れはあるまいかと申さるゝかも知れませんが、凡てに抵抗力の弱い子供の弄ぶものゝ事とて、細心の注意を拂ふ事が當然のことと思はれます。（某夫人）

食料の標準

衛生試驗所の調査

△三營養分の割合

蛋白質	九六瓦
脂肪	二〇瓦
含水炭素	四五〇瓦

六ケしい生理學上の理論は拔きにして、日本人で普通の身體を有するものは、右の三養分を右記の分量丈とらねば、其健康が保たれないのださうです。之を保健食料と稱せられますが、普通の人には蛋白質九十六瓦だとか脂肪二十瓦だとか云つても一寸解りませぬ。そこでどんな物を何程飲食したらば、それ丈の滋養分を取つた事になるかを、内務省の東京衛生試驗所で調査し按排した標準食料の表について見ます。

第一例

牛乳		一合
味噌		五匁
野菜	一、葱、胡蘿蔔、蓮根、ウド、蘿蔔、筍の類	二十匁
	二、馬鈴薯。甘藷、青芋、クワイ、ナガイモ、ツクネイモ類	二十匁
牛肉	鷄肉羊肉の類	六十匁
白米		四合

之れ丈を一日の食料とすれば、其の中には蛋白質九十五・七五瓦、脂肪二十八瓦、含水炭素四百五十四・三瓦の各營養分が含まれてゐるので前記の保健食料の養分を滿し得る譯なのです。

△第二第三の實例

第二例

雞卵		二個
味噌		五匁
野菜	一、ほうれん草、芹、三ツ葉、蕪菜、小松菜の類	二十匁
	二、うど、胡蘿蔔、カブラ、蓮根、筍の類	十匁
	三、ユリ、薯蕷の類	二十匁
魚	一、棘鬣魚、ボラ、ブリ、サハラの類	三十匁
	二、竹筴魚、鰹、鯖、鰤、泥鰌の類	卅五匁
白米		四合

右の食物には蛋白質百〇一瓦、脂肪十九・二瓦、含水炭素四百四十六・六瓦だけ含まれて居ります。肉類が入らぬ丈脂肪分が第一例よりは九瓦弱少ない、だから油こい物の好惡によつて脂肪物を加減される必要があります。

第三例

豆腐	廿五匁
莢豌豆、莢蠶豆、ササゲ類	十五匁
ソラ及燒麩	三匁
魚 比目魚、キス、鯊、コチ、アジ、コナ、ハゼの類	廿五匁
胡麻油、豚脂、牛脂の類	一匁
雞肉、牛肉、豚肉	三十匁
味噌、佃煮ノ物	十匁
白米	四合

此第三例に依る時は、蛋白質百〇一・五瓦、脂肪十九・四瓦・含水炭素四百三十四・七瓦を取る事が出來るのでございます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

胃病と流動物

余が養生法（承前）　薄田斬雲

△醫者の慣用語

溜飲質の胃病者に對して、一般に醫者は、成る丈け流動物を慎めと言ふ樣です。何時でもガブ〳〵して、胃壁の吸收作用が足らぬ胃に、湯や茶などを多く飲む事は宜しくないでせう。併し私自らの經驗は、極端に湯水を飲まぬ習慣を作つて此頃では身體に水分が缺乏して居る爲めに、一種の病を犯して居る樣に思はれます。私は肺病でもないに風邪を引き易くて困る。以前は然うでもなかつたに近年は甚だしく風を引き易い。抑々と考へましたが、私の身體に水分が餘りに少ない爲めに、身體が干からびて沈滯して新陳代謝が不良になり、内からの發汗作用が足らなく、外からの冷氣に甚だしく犯かされ易くなつて居る樣に思はれます。なんぼ滋養物を食つても水分が少くては肥れないだらうと思ひます。で私は此頃は胃が受入れる限り湯や水を飲む方針を取りましたが、其爲かして今年は去年の冬よりは風を引かなくなりました。但し之は素人の考へで、不圖そんな樣に感じた丈けです。私の風を引き易いのは水分の關係か、夫れとも神經衰弱の爲めかは判然しません。

△全身摩擦の効果

冷水浴が皮膚を強健にして又全身の機能を亢奮させ攝生に効果ある事は、私が夏期海水浴の經驗で著しく感じます、だが、私は秋口に毎朝臺所で冷水摩擦をやつては失敗して風を引き、爲めに冬迄通してやれません。そこで此頃は朝臥床の中で手拭の摩擦をやります、冷水に濡らした手拭だと一層結構ですが、夫れもいやな時は乾いた手拭でやるのです、冷めたくなくとも摩擦の功は確かにあります。虚弱な人の皮膚的強健法は乾いた手拭の摩擦から始めるのが一番無難でせう。夫れから夜眠れない時に手拭の摩擦をやると腦の充血が解除されて好い氣持に眠れます按摩にかゝると同じ樣なものです、虚弱な人の身體は血行に結滯が生じ宛かも流しに芥がつかへて居る樣なものです、摩擦法は下水の浚渫を行ふ意味で血行を好くするのです、我々は滋養物を口から取る事に依つてのみ健康を計るのは愚かな事です、入浴は牛乳に勝る効があると云ふが本當らしいです、私が前々號の誌上に紹介した火力療法なども血行を整へる新陳代謝の療法でせう。

▲袋へ入つて眠る

私は一昨年の夏、海岸に行つた時蚤に責められて三四日間碌々眠れませんので頗る閉口しました、其時、旅行者は袋を用意すると云ふ話を思ひ出して早速大きい木綿袋を造りスッポリ全身を入れて首ばかり出して寢たら、蚤を防ぐ事が出來ました、處が、蚤が頭へ來て困る、そこで枕の下や頭の邊へ蚤取粉を澤山撒いて之で完全に安眠を得ました。處が袋へ入つて眠ると、所謂寢冷への心配もなく夏ならば、熱からず寒からず甚だ具合が好いのです、然るに、秋になり冬になつても此の習慣が止められません、今も毎夜

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

袋へ下半身を入れて眠るのです、然うすると、腰や足が寒くなくて甚だ好い氣持です。夜半目を覺まして存分足を伸ばしてふんぞり返つても冷めたい事もなく、誠に太平樂です、老人や冷性の婦人方なら、古毛布で袋を作り胸から下半身入つて寢たら隨分好い氣持だらうと思ひます。窮屈だらうと思はれませうが、袋は敷布二枚合せた大きさにすると少しも窮屈な事がありません。

モ一ツ睡眠時の注意は餘り厚い夜具は禁物です、私は暖か過ぎる樣な厚着をして眠つた翌日は身體がだるくて頭腦が鈍くて、そして寒くていけません、成る丈け夜具は薄着に限ります、寢て居て熱苦しく、起きるとぞく〳〵寒くて困ると云ふ人が能くありますが、之は厚着して寢るからだらうと思ひます。空腹にして暖か過ぎない樣にして眠ると少ない時間でも熟睡が得られて翌日は佳良な健康を感じます。人間の幸福の一ツは佳良の健康を樂しむと云ふ事です。物に屈托せず、何時も快活で居やうと云ふには佳良な健康を有つ必要があります。別段樂しい事がなくとも佳良な健康さへあれば何となく樂しい心持に暮らせるものです。處が佳良な健康は當世の所謂、牛乳、卵、牛肉式の滋養物を口から食ふ丈けで得られるものではありません、青い菜葉を食ふからとて青い顏になるでもなく、赤い肉を食ふからとて顏が赤くもならず、健康を得るには、萬遍に衣食住の事を注意しなくては駄目です。

今週の惣菜

櫻井ちか子

□**御事汁** 東國では陰曆二月八日に一年の農事を始め、十二月八日に終るさあつて、此の日に御事汁を食べます。先づ小豆を煮て、其の汁で摺つてある味噌を薄く溶いて、其の中へ胡蘿蔔、午蒡、燒豆腐、里芋、蒟蒻等を五分位に切つて入れ、煮てある小豆も入れて少し長く煮るのです。

□**牛肉の大正煮** 牛肉に普通の鍋にするやうに切り、玉葱に四つ切にして心を取り、一分位の小口切にするのです。次にフライ鍋に胡麻又は牛肉の共油を一分位ゐの深さになる位ゐ入れて、煮立ちましたら、葱を初めに煎ため、其の上に肉を箸の先きで廣げ乍ら入れて七八分間煮ます。そして下す先きに生醤油を一寸落して熱い中に食べます。醤油を入れてから煮るさ肉の味が無くなりますから、直ぐ下さないさいけません。

□**馬鹿鍋**（一人前三錢位ひの割）馬鹿は腸を取り、目笊に入れて水の中でよく振り乍ら洗つて、砂を落します。そして水を切りましたら味噌さ砂糖を加へて一寸煮るのです。赤貝でも同じ方法に致します。

□**ふろ吹大根**（一人前六錢）大根の皮を剝き、厚さ七八分の輪切にし、たつぷりした水で氣長に茹でます。軟くなつた時次の味噌を付けて熱いうちに食べるのです。味噌は胡麻の炒つたのを擂鉢で擂つたのさ交ぜて砂糖を加へ湯又は酒でゆるめ、よい加減に鹽梅します。手輕に致します時は、摺味噌さ砂糖を湯でさいただけで、胡麻を入れなくてもよろし。

□**から汁** 普通の味噌汁の煮立つた中へからを入れ、鰯を實にして一旦煮てから下す前に葱の細かに刻んだのを入れます。からはあまり澤山入れてはいけません。鰯は三枚に下し、骨を除つて入れるのです（鰯の外に魚の摘み入れ、貝の剝身などを入れます。）

□**肉飯** 肉は牛、豚、鳥何れでも構ひません。先づ細かに刻んでバタ又は胡麻油で煎ります、この中へ午蒡さ胡蘿蔔さの細かに刻んだのを一所に入れて煮るのです。但し午蒡は刻んでから水に浸けて灰汁を抜き、一寸茹でゝ笊に上げて置くのです。肉さ野菜が柔かくなつた時に醤油さ少量の砂糖で味を付けます。これを飯の火を消す前に汁共に入れ、手早く攪き交ぜて蒸して置くのです。（注意肉の量に一升五合の米に一斤、醤油は米升に七勺の割）

□**小松菜と剝身の辛子和へ** 小松菜を茹でゝ堅く搾つて細かに刻み、剝身も茹でゝ置きます。辛子はかいて灰汁を抜いてから擂鉢でよく擂り、其の中に少量の味噌さ醤油を加へ、前の菜さ剝身を交ぜるのです。（西洋辛子を用ゐる時には、其のまゝ水で溶けばいゝのです）。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小さい汽鑵車

あづま

寒い〳〵冬の日山の中の炭小屋から炭といふ炭は町に運ばれました。炭の仲間はあつちこつちの炭屋から炭屋へ別れ〳〵になりました。
山一つ向ふの隣村には可愛い丶子供達が多勢居るのにまだ炭を送らうともいたしません。
炭達の殘つたものが相談して。
「さぞ隣村の孃チャンや坊チャン達は私達の行くのを待つておいでゞせう！どうかして汽鑵車に賴んで乘せて行つてもらひたいものだ―」
と云つてゐました。
丁度その處へ大きな汽鑵車が白い煙を立て大きな音をさせて來ました。
グッツチャンドン〳〵　グッツチャンドン〳〵〳〵〳〵と　炭達の前を通りました。
炭の一人は云ひました。
「汽鑵車さん〳〵!! 大きな〳〵汽鑵車さん！　あなたのやうな大きな方は私達のお願を聞いて下さるでせう、ネ、どうか此山向ふの隣村まで私達を乘せていつて下さいな。此寒いのに炭がないので困つてゐます、どうか乘せていつて下さいな」
と賴みました。
すると大きな〳〵汽鑵車は、
「そんな事は出來ないよ、私の身でさへ此山を登るのは大變なのにお前達まで乘せることなど、眞平御免！さようなら!!」
と遠慮もなく大きな音をたてゝいつてしまひました。
炭の仲間はしかたがないと思つてゐますと、又丁度今行つたのよりは少し小さい汽鑵車がまゐりました。
此度こそ乘せて貰らひませうと思ふて炭達は賴みましたが、大きな汽鑵車が云ふた通りを申しまして行つてしまひました。
可愛想に隣村では皆なが困つてゐるだらうと思ふと炭達は氣が氣でありません

十四

でも自分達には山を越して行く事は出來ません、しかたなしに次の汽鑵車の來るのを待つてゐました、そこへ來たのはそれは〳〵小さい汽鑵車でした。
「汽鑵車さん〳〵何とも申兼ますが私達の仲間を山向ふの隣村まであなたの車に乘せて連れていつて下さいな―」
と賴みました。
小さい汽鑵車はしばらく考へて居ましたが、
「私のやうな小さい力のないものでも、一生懸命骨折つたら乘せていけない事もないでせう、一つ試しにやつて見ませうか」。
と返事しました。
炭達は大層よろこんでいゝました、實は大きな汽鑵車にも中位の汽鑵車にもお賴しましたけれど、皆此山を越すのが大變だといつて、いつてしまひました、おなたが乘て下さるならこんな有難い事はありません「サア皆な早くお乘り」と炭の仲間は勇ましく喜んで乘り込みました。小さい汽鑵車は元氣を出して進み出しました
シュー―――ヅットンヅットン〳〵
と町を通り村に入つて森をぬけだん〳〵

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

山道にかゝりました。

車の進みがだん／＼遲くなり初めました、今迄のやうにブットン／＼といかなくなりました。

道は益々峻險坂になつて來ます、車の勢は強くなつて來ます。

小さい汽鑵車は汗をながし煙を立て、ナンダ坂、コンナ坂、ナンダ坂コンナ坂――とうたひながら精一杯に登つてゆきました。

一番上に着いたときには小さい汽鑵車は隨分つかれて居りました、然し此度は降りだと安心して氣持ちよく山をおりました。

炭の來るのを待つてゐた人達を此小さい汽鑵車がついた時どんなによろこんで有難がりましたでせう。

小さいものでも骨折つて働くときには大きなものゝ働かないものよりも、いくらいゝ仕事が出來るかしれません。

□時々自殺します

過般來朝した米國ブリンモア女子大學校教授が、津田梅子女史に、「日本の婦人は柔和で勤勉で忍耐強いのには感心しますが、感情がありますか」と尋ねられました。津田女史は「時々自殺します」と答へられたさうです。

子供の智慧

◎戸籍調べに謝罪る

顏子さん（九つ）は戸籍調らべの巡査が「お變りはありませんか」と玄關に訪づれると、ピタリと式臺に平伏して、「どうぞお免なすつて下さい」と頻りに謝罪りました。女中達が「そんな事をすると巡査に申しますよ」と平常威嚇したので、惡戯の調らべに巡査が來たものと思つたのです。

◎お目ざは夜中に

花子さん（五つ）はお母さんからのお目ざを枕許に置いて睡るのが例ですがいつも朝起きる時にはそのお目ざがなくなつてゐますので、目が醒めると直ぐ、「カチよ」とお母さんにねだります。お母さんは夜中にお目ざがなくなるのを不思議に思つて、「鼠でも出るのかしら」とつぶやかれましたが、毎晩の事なので、よく注意して居りますと、花子さんが夜中に目をさまして、お母さんの知らぬ間に喰べてしまうのでした。

午後三時

安中花子

午後三時ふつと居どこを失くしたる心が時計を見つめてありぬ。

めでられし心になりてうつとりと空を見つめてありぬ一とき。

百人の中の一人が去りしとてけふ一日のこの味氣なさ。

かにかくと其の折々にふさはしう物言ふことも我が性となり。

さら／＼と雪の降る夜はつめ彈きといふことなどもなつかしまるゝ。

遠つ人きみが御胸にうつるらむ我が影思ひくろかみ解きぬ。

安らかにをさめ十八嫁ぎ行く妹よ汝は清したふとし。

とこしへに世は榮えゆけ戀もなくかなしみもなき人の子のため。

常に唯ほゝゑむといふ美しきいつはりのすべもいつか覺えぬ。

禍は強く生れしこの心あきらめの檻にねむりも得せず。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

墺太利皇后 マリヤ・テレサ（二）

△平和を愛す

マリヤ・テレサの治世は實に兵火に絶間なかつた。かの七年戰爭の如き、テレサは其の渦中の人たるを免れなかつた。幾千の人民の血河流るゝ慘事に出遇つてテレサの平和を愛し、神に頼るの念は益々深く養はれた。「神の御心でなければ、一羽の雀も落ちない。凡ては神の御心であらねばならぬ」と、テレサはいかに人類相せめぐとも、どうすることの出來ない戰爭の結果を見て叫んだ。其故に戰爭が源因した人民の不幸を取除けるために、有ゆる手段を盡した。

△有ゆる善政をなす

皇室費を儉約して租税を輕くしたばかりでなく、有能の士を用ひて人民の利益になる事なら、どんな事でもやつた。物の根底を見る彼女の洞察力、其の廣い同情は、自分の施政が善き果を結ぶのを見て限りなき歡喜を感じた。

テレサは有名なる和蘭の醫師ヷン・スキーテンから教育を受けたので、此人を擧げて宮中顧問官に任じたが、忽ち此人の博學多才なるを知つて、政治にまで携はらせた。スキーテンは女王の命令の下に、國民教育を改良し、帝國圖書館を再築した。多くの學校は建てられた。墺太利と東洋諸國との關係の益々重大ならんとするを見て、東洋の國語研究を學科の中に加へた。青年貴族の大學を建て、又それと同時に貧民教育を怠らなかつた。ヨセフ・フォン・ゾンネンフェルスといふ人は女王に奏して「大きな都會に公立學校を建てるだけではいけません、どんな小さい村にも一つの公立學校を要します」と。この言葉は人民の母であるテレサの大に嘉賞する所となつた。テレサは又藝術を愛して、其の恩顧者となつた。又大に富國の途を講じて農業と商業を奬勵した。

△家婦としてのテレサ

テレサは眞に理想的の家婦であつた。其の結婚生活は至つて幸福であつた。夫であるフランシス二世は靜かな落着いた人であつた。テレサは調子の高い敏活な性質であつたので、夫婦はよく長短相和した。二人の間には十六人の子女が生れた。子供に對する愛情はテレサの隱家であつた。心が憂ひ重くなる時には、子供を抱へて、其處に限りなき慰めを見出し又新らしき力を得るのであつた。テレサは其澤山の子供の教育を神聖なる義務さ感じて、大なる興味を覺えた。

△病める老婆を訪ふ

ルキセンブルグに百八歳の老婆があつて、毎年一度づゝテレサに拜謁するのをこよなき樂しみとした。一年病んで參内することが出來ぬのを悲しんだが、テレサはそれを聽いて老婆の家を訪づれ「安心なさい、善き女よ、私はあなたを訪れて來ましたから」といつて、親しく其の病氣を撫つたさうである。斯る清い愛すべき女王は千七百八十年六十四歳を一期として靜に神の許に歸つた。（くし）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

全譯 何處へゆく（五）

松本雲舟

浴場の五

「それならお聴きなさい、マークス。私はアウルス・プラウチウスを知つて居る。私の平素の行狀を善くも思つてゐなからうが、それでも幾らか親しみを持つてゐる筈ぢや。私がドミチウス・アフエルやチダリヌスや其他赤髯の友人全體のやうに密告などをする者でないと、プラウチウスも知つてゐるから、他の者同樣には思つてゐまい。私は禁慾派だなどゝ欠にも出したことはないが、セネカやブルルスが看過したネロの行狀を一度ならず批難した事がある。私がプラウチウスを動かすことが出來ると思ひなさるなら、お前さんのために犬馬の勞を取らう」

「お父さんなら出來ますとも。プラウチウスを動かす方法を御存じですし、又叔父さんの策略は無盡藏ですからな。是非一つ、プラウチウスにお話し下さい」

「ばかに私の力と策略をおだて上げたものぢやな。兎に角それだけの御用なら、プラウチウスが羅馬に還り次第、話して見やう」

「もう二日前に還つてゐます」

「それなら、朝餐の仕度がしてあらうから、食堂へ行つて、腹を肥してから、プラウチウスの家に出かけやう」

「いつもながら、有難うございます」とヴィニチウスは熱心に叫んだ。「この上は私の家の守神の中にあなたの像を据へつけて、獻物をいたすだけでさー、あそこにあるやうな立派なのを」

と言つて、ヴイニチウスは香料室の壁を飾つた像の方を振向いて、其の中から手に杖を持つて、神使の風をしたペトロニウスの像を指さした。

「日の神も照覽あれ」とヴィニチウスは附言した。「神の如き英雄アレキサンダーにあなたが似よつてゐるからには、私はヘレナ姫のやうになつたでせう」

かういふ諂辭には眞面目と阿諛とが等分に混つてゐた。ペトロニウスはヴエニチウスよりも年を取つてゐるし、體格もよくなかつたが、其の顔はもつと立派であつた。羅馬の女達は趣味の審判者と呼ばれたほどペトロニウスの心や趣味のやさしみに隨喜したが、又其の風采にも渴仰したのであつた。今彼の寬衣の襞をそろへてゐるコス生れの二人の處女の顔にもさういふ心持は漂つてゐた。殊に其の一人のユニセは窃かにペトロニウスに煩悩の情を燃してゐたので、柔しさと嘆美の情を以て彼を眺め入つた。

けれどもペトロニウスはユニセなどに眼をくれず、笑ひながら、「恥知らぬ動物」といふ女に對するセネカの警語を引照して、ヴイニチウスに話しかけた。

身仕度が出來ると、ペトロニウスは若者の肩に手をのせて、食堂へ案内した。香油室では、フリジヤ生れの二人の希臘女と二人の黑女が香料を一緒に集めやうとしてゐた。折りしも涼み室の引幕の

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

後から、浴場掛の頭がぬつと現はれて、用心深く呼びかける聲がした。するとフリジヤ生れの希臘女の一人と黑女二人は直ぐに簾の後に隱れ去つた。踏り狂ふて騷ぎまはる時は浴場に來たのだ。浴場の取締も時々同樣な宴樂の仲間入をするので、奴隷達がさうするのを禁じなかつた。

ペトロニウスも奴隷達を疑つてはゐたが、元來寬大な人で、事を荒立てることが嫌いなので、默つて其の踏り騷ぐのを見遁してゐた。

ユニセは獨り香油室に殘つた。暫らく發汗室の方へ退く人聲と笑ひ聲に耳を傾しげてゐたが、やがて、ペトロニウスが今まで坐つてゐた、琥珀と象牙で飾つた腰掛を取つて、用心深く其の像の方へ動かした。

香油室は日光に充された。壁を覆ふた種々の色の大理石の板はぴか〳〵と反射した。ユニセは腰掛に上つた。ペトロニウスの像と身の丈が同じになつたので、激しく其の腕を像の頸になげかけた。それから黃金なす髮を後に垂れさげて、薔薇色の身體を白い大理石に押しつけて、ペトロニウスの冷たい脣を熱烈に接吻で覆ふた。

訪問の一

普通の人ならもう疾に晝食を終つた頃、友達と食卓を共にしたわけだが、ペトロニウスはそれを朝餐と呼んでゐた。其の朝餐が濟むと、彼は少し晝寢をしやうと言ひ出した。訪問にはあまり早過ぎると思つたからだ。日の出頃に友人を訪ねる人もある。さういふ習慣は昔からあつたので、眞に羅馬風ともいはれてゐた。けれどもペトロニウスはそれを野蠻だと考へた。いつでも訪問に一番好いのは午後である。ジユピター・カピトリヌスの殿堂の方へ日が落ちて、市場に斜めな影を投げ始めた頃よりも早くない時がよい。秋はまだ暑い頃なので、食後の一睡りは誰も好むところだ。この時分には大廣間に湧く噴水のさゝやきを聽くのも樂しいし、歩き疲れた後で、半分引れた日覆ひの紫色からさし込む紫の光線を眺め入るのも樂しいものである。

ヴイニチウスはそれに同意した。二人はあちこちと歩きながら、宮中や市の風評などを出まかせに話した。それから無

十八

遠慮に人生を語つた。暫らくしてペトロニウスは寢室に退いたが、長くは睡らなかつた。半時間もすると、還つて來て、馬鞭草を持つて來させて、その香を嗅いで、手や顬顳に擦りつけた。

「かうすると、いかにも神經が刺激されて、心地がよいものでな」とペトロニウスは言つて「さあ出かけやう」

駕はもう長いこと待つてゐた。二人は座についた、パトリシヤ區のアウルスの家へ擔んでゆくやうに指圖した。ペトロニウスの別莊はカリネといふ所に近くパラチネ山の南面にあつた。一番近路は市場を横切ることだが、ペトロニウスはイドメニウスの寶石店に立ち寄りたいと思つたので、アポリニス區から市場を經て、小舍掛の澤山にあるスケレラツス區の方へ行くやうに言ひつけた。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

●澄宮初御參內　客臘十二月二日御誕生遊されたる新皇子澄宮崇仁親皇殿下には御發育殊の外御良好に渡らせられ、御身長一尺九寸二分御體量一貫三百六十二匁（十九日御計量）と申す御事にて二十三日は恰も五十三日にならせらるゝを以て午前十時初御參內御父　聖上陛下に御對顏遊され給へり。

●露太公御退京　十二日御入京以來親しく日本の風物に親しませ給へる露太公殿下には廿日夜帝國劇場に日本劇を御見物遊されしを御名殘りとして廿一日午前十時五十分東京驛發御退京御歸國の途に上らせられたり。

●支那帝政實行延期　支那政府は二月上旬帝制實行に決せるも袁總統は雲南事件勃發し討伐軍未だ雲南に達せざる等に鑑み帝制實行を延期すべしとの命あり依つて此旨を各本國に傳へられよと二十一日我公使及各國公使に申送り來れり。

●日露同盟提議說　露特使御來朝と共に日露同盟の議提せられたる旨報ずる新紙ありたり。

●首相狙擊犯人捕縛　一月十二日夜大隈首相を早稻田山吹町に狙擊したる犯人は十八日に至り警視廳の手に捕縛されたり主犯者は青年自由黨員下村馬太郎（八三）、共犯者は日本電報通信社員福田和五郎（八四）、鬼倉重次郎（八三）和田政吉（六二）なり。

●雄飛號大阪へ飛ぶ　陸軍飛行船「雄飛號」は幾度か失敗を重ねたる後廿一日午後一時廿分所澤を出發し大阪へ向け飛行し途中豐橋に休憩後廿二日午前五時九分無事大阪城東練兵場に着陸したり歸航も飛行する筈なりしが故障の爲め解體して汽車にて所澤に持運ばれたり。

●成榮女學校燒失　二十三日午前零時五十分小石川區餌籠町五十一成榮女學校西洋館校舍二百坪は燒失せり同校は元島貫兵太夫氏の日本力行會の建物なりしを五島博士夫人の讓り受け經營し來れるものなりしと。

●婦人問題研究會　廿二日日本女子大學校內に開かれたる同會は、帝國、早稻田、慶應の各大學教授及び日本女子大學校、高等師範學校の校長並に教授及び政治界、教育界、實業界に於ける知名の士にして、婦人問題に研究を積み、興味を有する者約三十名會合し、嘉澤博士の婦人と經濟に關する三時間に亘りての研究發表あり、續いて會員の自由討論に移り、晩餐を共にして夜九時半に散會したり當日婦人側には津田、安井兩女史が出席され、頗る盛會にして、有益なりし。

婦人會の消息

▲花の日會新年會　三十日午後一時より麴町富士見軒に開催する由。

▲明治餘光會新年會　廿三日午後一時より下澁谷福澤桃介氏邸內娛樂館で新年祝賀會を開く岸邊福雄氏のアメリカ土産噺、音樂喜劇等の餘興あり盛會なりし。

▲海軍協會婦人新年會　廿日內幸町の同會にて開催せられたり。

▲將校婦人新年互親會　廿日午後一時九段偕行社にて開催さる。

女學校だより

△日本女子大學校　目下生徒募集中。

△府立第一高等女學校　目下生徒募集中。

△女子美術學校　正木直彥氏を校長代理とし、戶野みちゑ女史を幹事として、今後益々同校の發展を計るべしと。

△女子技藝實業學校　昨年新に增設したる實業部の一週年紀念會式を近々催すべしと。

△芝シンガー裁縫院　目下生徒募集中。

故人消息

▲駐智利公使夫人　[illegible]に亡夫公使の遺骨を抱いて、廿一日紀洋丸にて歸國の途につかれしと。

▲鳩山薰子　此程より微恙にて引籠り中。

▲廣岡淺子　九州協同傳道應援のため廿一日夜地に赴き、來月上旬歸阪の筈。

▲小嶽みさ子　中山家に奉公して明治天皇の御守なせる同刀自は八十五歲にて御大典に褒賞せられしが十一日逝去せり刀自は勤儉力行の人にて、死するまで毛糸の屑を集めて美事の手袋を編まれたり、熱心なる基督敎徒として每朝日出時には皇室のため、牧師敎會のため、一家のために祈禱されしと云ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

編輯室より

編輯室の硝子窓から見る空がなんとなく春らしくなつて來ました。其故本號には「家庭の野遊び」に就て經驗ある方々のお話を承はりました。一家打連れての野遊びが都會生活に流行するやうになりましたら、どんなに樂しいでせう、又どんなに有益でせう、物見遊山といふ事が、唯淺草の活動寫眞や芝居見物に限られるやうでは仕方がありません。

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり

又年長者にして英語初歩より學ばれんとする者にも懇切に教授す。家庭的寄宿舍の設けあり

ピアノ個人教授の需めに應ず

本郷區彌生町三番地

英語專門 私立 櫻井女塾

（電話下谷六八一五番）

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、職業上其他有らゆる相談に應じ、無料にて最も善き解決を與へます。但し費用を要する御相談は實費を申受けます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の據證調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依賴者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地

婦人週報社內（電話番町四五六六番）

人事相談所

●婦人週報定價（每週金曜發行）

壹部 金五錢（但し郵送料五厘を含む）

一月 金貳拾錢（四部又は五部）

三月 金六拾錢（十三部）

半年 金壹圓拾錢（廿六部）

一年 金貳圓貳拾錢（五十二部）

●本誌廣告料

特等（表紙の二、四） 金參拾圓

壹等（表紙の三、白紙前付） 金貳拾五圓

貳等（色紙の表側） 金貳拾貳圓

參等（色紙の內側） 金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵劵代用は必ず一割增の事▲送金の爲替宛名は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行兼編輯人 小橋三四子

東京市京橋區銀座四丁目一番地

印刷人 小橋三四子

印刷所 福音印刷合資會社東京支店

東京市牛込區市谷田町二丁目十七番地

發行所 婦人週報社

振替口座東京三一六六〇番

電話番町四五六六番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

婦女界

若き母の遺稿（十一頁に亘る長文）
愛兒を抱いて投身せる若き母の悲痛を極めたる長文の遺稿

家庭に於ける慈父の價値（鳩山春子）
萬引女は何故中流以上の家庭に多い乎（棚橋絢子）
家庭迷信の掃除法（井上圓了）
どんな肉が旨しいか（澤村博士）
家庭で出來る手輕な療法（中村松乃）
子供を丈夫に育てる秘訣（都河主幹）
子供の病氣と母親の注意（淺田夫人）
子供の病氣を豫防する法（吉田學士）

主婦の讀物

▲收入の減じた我家の生活法……初音
▲月給四十圓の教員の家計……夏子
▲新工夫をした商家の家計……園枝
▲家庭で出來る染色法……菱山教諭
▲素人で出來る小兒洋服……宮崎いそ子
▲子供にも出來る手提袋……津田敏子
▲寒風に堪へる化粧法……北原十三男
▲舶來品に優る和製ココア……一記者
▲山家風の懷石料理……龜井まき子
▲大根料理のいろ／＼……櫻井ちか子

長篇小說 憂き身（手に汗握る大波瀾） 柳川春葉

二月號 本日出來
▲一册十五錢郵税一錢半
▲半年八十五錢一年一圓六十錢

東京牛込加賀町一
婦女界社
▲振替二〇二八三

■最近の發明品■

◎姿を美しくする帶上げ止め 定價三十錢ヨリ

生れつき姿の惡ろい方でも帶を上手にしめろさ見違へる様に恰好よくなります誠に婦人の姿は帶の形ち一つで御上品にも「しだら」なくもなりますが、さて帶を上手に締めろさ云ふ事も簡單の様で中々六ヶ敷事で十中の八九は「おたいこ」が「だぶ」ついて見苦ろしくなつて居ります之れはつまり帶上げが下がるからであります然ろに本品を御使用遊ばさばどんなにしても帶上げの下がろ事なく「おたいこ」の形ちも締めたまゝに「きちん」さなつて常に後ろ姿が美くしく保たれます、のみならず帶上げを高く脊負ひ上げられますから一般に丈の低い日本婦人には帶から下が長く見えて肘、脊中、帶の調和が誠によく姿が「ほつそり」見えます、又衛生上本品をお用になれば帶上げで胸を締めつけないでも濟むから呼吸が自然で女子本來の呼吸（即ち胸式呼吸）を完全に營む事が出來ますつまり内臟（肺、心臟、胃等）の機能を十分に行ふ事が出來ろ理けであります、故に衛生上極めて理想的の品であります。

■販賣店■
三越呉服店
白木屋呉服店
松屋呉服店
松坂屋呉服店
大西白牡丹
小間物屋萬新商店
同 富士京商店
本社代理部店

京都染物

御誂御好に應じ御古物染直しにても御新らしき品同樣美麗にいたし候
あらいはり、しみぬき、ゆのし、
右之通迅速を旨こし精々入念廉價に調進可仕候間多少に拘らず御用向被仰付度偏に奉願上候
宮内省初め女子大學校の御用を承り居候

東京市本郷區湯島新花町八番地（靈雲寺門前）
井筒屋支店
中村榮次郎
電話下谷五六七四

御注文の節に御一報被下候へば早速御伺可申候

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新年倍號(第十卷第一號)要目

ROMAJI

每月一回 一日發行

ローマ字に就て……理學博士 菊地大麓
齊彬公と黑川博士……法學博士 阪谷芳郎
お祭騷ぎをしてゐる時でない……慶大教授 向軍治

優學者とローマ字

阿部次郎　石坂養平　上司小劍　武林夢想庵　中村吉藏　小川未明　長田秀雄　杉村楚人冠
青柳有美　川路柳虹　厨川白村　武者小路實篤　昇曙夢　荻原井泉水　太田水穗　戶川秋骨
福士幸次郎　窪田空穗　木下尚江　正宗白鳥　中里介山　大谷繞石　堺利彥　千葉龜雄

文藝欄
水野葉舟　若月紫蘭　藤森成吉　川副櫻喬　蒲生俊文　鳥谷部陽太郎　山田邦子　安藤和風

新年を迎へて……醫學博士 櫻根孝之進
生物學上より見たる國字問題……理學博士 石川千代松
國語界の趨勢……日下部重太郎

定價一部貳拾錢 一年壹圓四拾錢 本號に限り八拾錢

ローマ字ひろめ會
東京市麴町區有樂町一の三
電話本局五二五六 振替東京一一九

週刊宗教雜誌

基督教世界

每週木曜發行
一部 金五錢
半ケ年 金一圓廿錢
一ケ年 金二圓卅錢

◎本誌の創刊は明治十六年にして既往三十餘年の歷史を有する本邦基督教界最古の週刊雜誌なり
◎本誌の特長は進歩的基督教の立場より時事問題を評論し且つ最新の知識に依り斯教永遠の眞理を闡明するにあり
◎本誌は每號教界先輩の說教內外名士の論說と新進思想家の研鑽と、淸新なる宗教文學及內外教勢を滿載す
◎本誌は信仰修養の糧として聖書研究の手引として、信徒家庭の讀物として好適なる雜誌なり

本誌の見本は御申越次第無料進呈すべし

基督教世界社
大阪市北區中之島二丁目四十七
振替口座大阪三一七三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA